

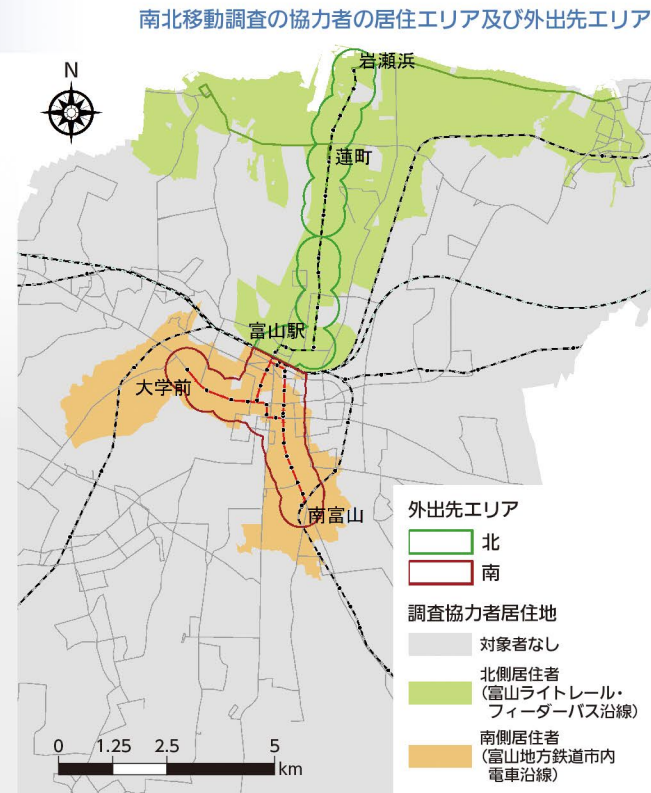
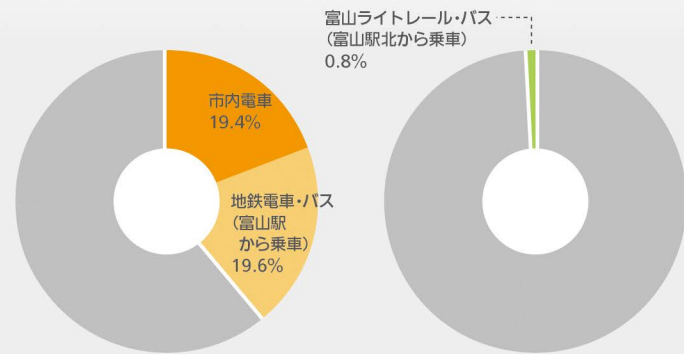
## 調査② 富山駅南北移動に関する行動調査 ～主な結果と調査分析結果の活用について～

### 公共交通の南北乗継状況

- 富山駅南北接続の効果検証の事前調査として、富山駅の南北移動に関する行動調査を実施しました。
- この結果、富山駅北側居住者の南側への富山駅での公共交通乗継は4割程度ありますが、南側居住者の北側への乗継はほとんどないことが分かりました。

富山ライトレール・フィーダーバス沿線居住者の富山駅での乗継状況

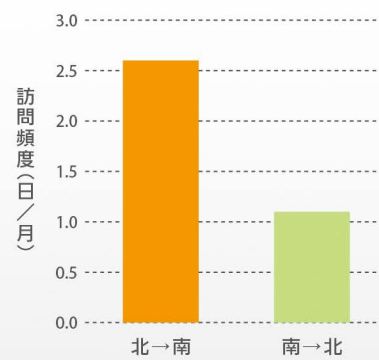
市内電車沿線居住者の富山駅での乗継状況



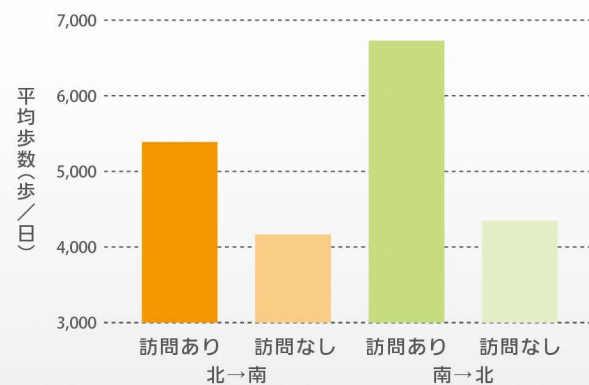
### 南北移動状況

- 北側から南側への訪問頻度は、南側から北側を訪問する頻度の約2.5倍であることが分かりました。
- また、富山駅の南北をまたぐ訪問日の歩数は、南北間の訪問がない日よりも多くなっています。

方向別の訪問頻度



南北をまたぐ訪問有無別の平均歩数



### 調査・研究結果の活用について

令和2年3月に予定されている富山駅路面電車南北接続の効果検証資料として活用します。

# 歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを目指して

高齢社会における交通と健康モニタリング調査 概要

## ご協力のお礼と調査結果のご報告



### はじめに

本調査は、高齢者の交通行動を把握することで、おでかけ定期券の効果検証や中心市街地の活性化、新たなまちづくり施策の検討を行うことを目的として、平成28年度から4年にわたり実施しております。皆さまには、平成28年度、30年度に「おでかけっち」を携帯してデータを取得する調査にご協力を賜り、ありがとうございました。調査結果をご報告いたします。



調査の概要 2つの調査にご協力いただきました。

#### 調査① 高齢者交通行動調査

分析内容	おでかけ定期券所有、利用の有無による歩数等の経年変化及び実際の医療費との相関の検証
調査対象	富山市に居住する65歳以上の高齢者
調査協力者	644人
調査期間	平成28年10月 (31日間) 平成30年9月・10月 (15日間)

#### 調査② 富山駅南北移動に関する行動調査

分析内容	富山駅路面電車南北接続前の富山駅をまたぐ南北移動状況の検証
調査対象	市内電車・富山ライトレール沿線(フィーダーバスを含む)に居住するおでかけ定期券所有者
調査協力者	357人
調査期間	平成30年9月・10月 (15日間)

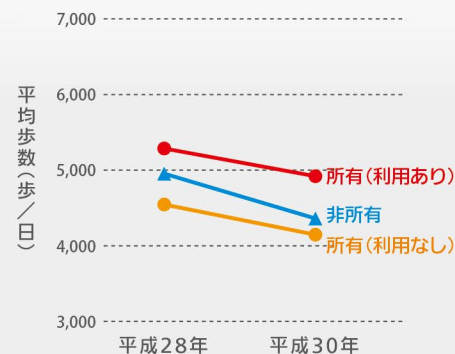




### おでかけ定期券所有・利用状況と歩数の関係

■2年間おでかけ定期券で公共交通を利用し続けた人は、おでかけ定期券を所有していない人と比べて、1日の平均歩数は多く、減少幅が少ないことがわかりました。

おでかけ定期券の所有・利用別の1日平均歩数

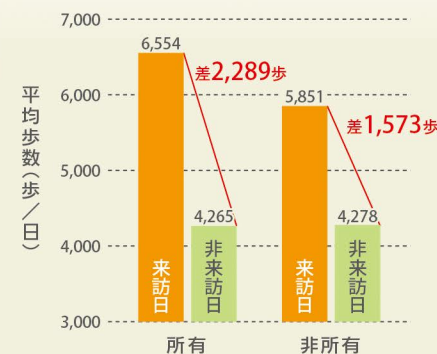


### おでかけ定期券所有・利用状況と中心市街地来訪時の回遊行動の関係

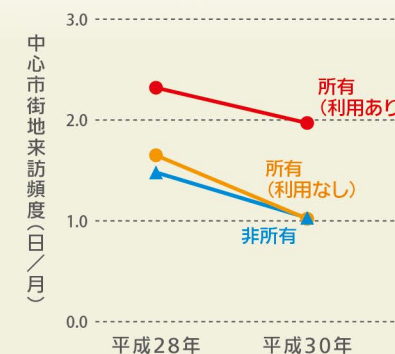


- 中心市街地への来訪状況を調査・分析しました。
- おでかけ定期券所有者のほうが、非所有者よりも中心市街地来訪時の歩数が多いことがわかりました。
- おでかけ定期券所有者のほうが、非所有者よりも中心市街地への来街頻度が高く、滞在時間が長い傾向にあります。

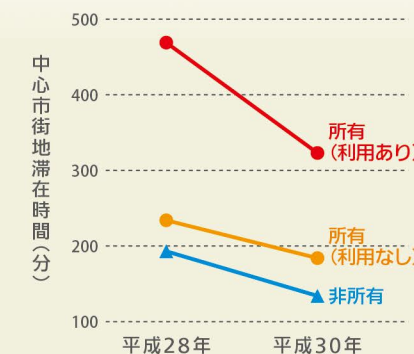
中心市街地への来訪の有無別の平均歩数(平成30年調査)



中心市街地への1か月あたりの来訪頻度(9時～17時)



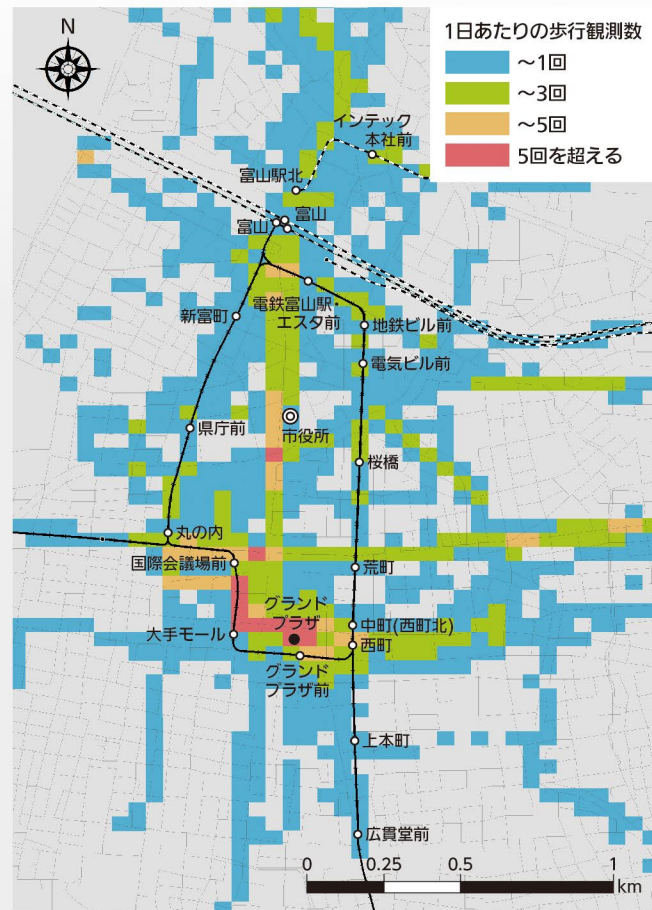
中心市街地での1か月あたりの滞在時間(9時～17時)



### 中心市街地における歩行範囲

- 高齢者の中心市街地における歩行範囲を調査・分析しました。
- 中心市街地では、商業店舗等が多い縦曲輪通りや大手モール、これらと富山駅を結ぶ城址大通りへの観測が多い状況にあります。

高齢者の1日あたりの歩行観測数(平成28年調査)

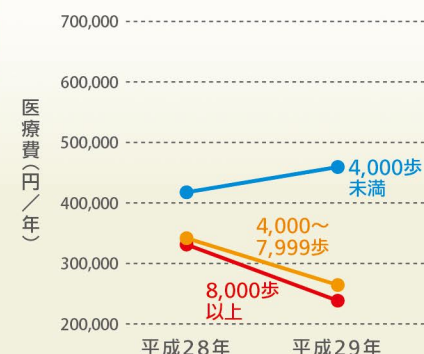


### 歩数と医療費の関係及びおでかけ定期券所有状況と医療費の関係

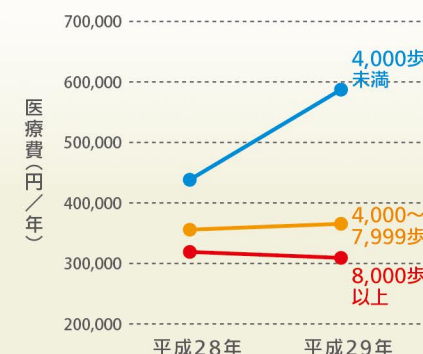


- 1日の平均歩数が多い人ほど医療費が少ないことがわかりました。
- 前期高齢者(国民健康保険加入者)では、平成28年から29年にかけて、平成28年度の1日の平均歩数が4,000歩未満の人の平均医療費が上昇しているのに対し、4,000～7,999歩及び8,000歩以上の人の平均医療費は減少しています。
- 後期高齢者では、平成28年から29年にかけて、平成28年度の1日の平均歩数が4,000歩未満及び4,000～7,999歩の人の平均医療費が上昇しているのに対し、8,000歩以上の人の平均医療費は減少しています。

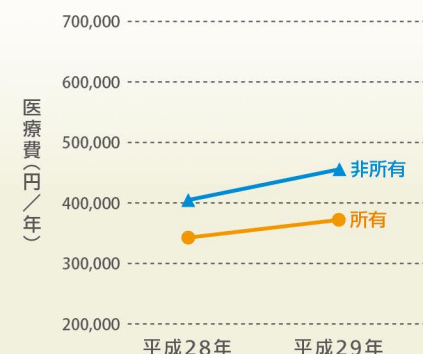
歩数別の医療費(前期高齢者)



歩数別の医療費(後期高齢者)



おでかけ定期券の所有状況別の医療費(平成28年-29年の所有状況)



※1日8,000歩…スポーツ庁「FUN+WALK PROJECT」目標歩数

■また、おでかけ定期券所有者は非所有者よりも医療費が少ないことがわかりました。

注意:令和元年も調査・分析を継続するため、今後結果が変わる可能性があります。

医療費の差 おでかけ定期券所有者と非所有者の医療費の差

年間1人あたり 約70,000円

### 調査・研究結果の活用について

#### ▶これまでの施策の効果検証、更なる利用促進

- 「おでかけ定期券を所有している方」は「おでかけ定期券を所有していない方」と比べ、1日の平均歩数が多く、中心市街地への来訪頻度が多く、滞在時間も長く、医療費が少ないことがわかりました。
- これより、おでかけ定期券に関するこれまでの取組は効果があると評価することができました。

- おでかけ定期券の取得、利用を更に向上させることで、外出機会、外出時の歩数の増加を促進し、高齢者のみなさまの健康増進や医療費の抑制を図っていきます。
- また、高齢者のみなさまをはじめ多くの方に中心市街地へ公共交通を利用して来訪してもらえるよう、トランジットモールをはじめとした中心市街地の賑わいづくりに取り組みます。

#### ▶新たな施策への活用

- 富山市では「歩くライフスタイル」を定着させる施策を推進しています。
- 歩行や公共交通の利用を促す「歩くアプリケーション」の開発など、新しい施策の検討・推進に活用します。

「歩くアプリケーション」のイメージ

